

# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

## アメリカザリガニ

皆に守ってほしいことがある。

君たちの中にはザリガニを飼っている人もいるだろう。赤茶色で大きなハサミを振りかざすアメリカザリガニだ。

このザリガニを川や池などに放さないでもらいたい。絶対に、だ。

この夏、生物観察でアメリカザリガニを飼育していた人は、まとめが終わったことだろう。

彼らを自由にしてやろうと思うかもしれないが、それは厳禁だ。

自然界に出たアメリカザリガニは、雑食性で猛威を振るう。

トンボの幼虫のヤゴや、ゲンゴロウといった水生昆虫を食べてしまう。貝類も被害を受ける。タナゴは二枚貝に産卵するので、ザリガニが増えるとタナゴたちは姿を消してしまうことになる。

アメリカザリガニは水草類も盛んに食べる。そのとき、ハサミで水草の茎を切る。大型の個体ほど植物を好むので大変だ。

アメリカザリガニの増加によって、希少なオニバスが消えた例もある。

水生植物がなくなるとその泥土が舞い上がりやすくなり、それまで澄んでいた水が濁る。水中では太陽光線が不足してプランクトンの顔ぶれも変わるなど環境は一変してしまう。

こうして日本固有のいろいろな生物が水辺の生態系から消えていく。ペットとしても人気のあるアメリカザリガニが、これだけの悪さをするのは、彼らが外来生物であるからだ。原産地では天敵も多く、むやみに増えることはないが、日本などの新天地では、歯止めのかかる仕組みがない。

日本には昭和5年ごろから大船に入ってきたが、近年の農薬使用の減少などで急速に増えだした。分布の拡大には、ペットや飼育用のザリガニの放出が関係しているとみられている。

ザリガニのために良かれと思って「善意の放流」が、里地の池沼や小川をはじめ、都会の公園の池の中の生態系を破壊する。温暖化も作用して冬眠することなく活動する例もある。

アメリカザリガニ食を勧める声もあるが、寄生虫がいる場合も考えて十分な加熱と調理器具を別にするなどの注意が必要だ。

繰り返すが、アメリカザリガニを自然界に放してはいけない。学校や家庭での指導の徹底も期待したい。

鈴木 昭司

## 1. 9月および10月の主な活動報告

- 9月23日(土) 14名 センター用薪づくり、製材置きパイプ棚準備、ZFC通信発送、  
9月27日(水) 11名 炭小屋内作業(薪づくり、たたら炉用鉄板搬入)  
9月30日(土) 18名 伐倒(WC前スタジイ3本、アカガシ枝切り)、薪づくり  
10月 4日(水) 11名 炭小屋内作業(製材置きパイプ棚、テーブルソー整備、木工)  
10月 7日(土) 17名 炭焼き(本窯、ドラム缶窯)、薪割り、チェーンソー整備  
10月 8日(日) 6名 炭焼き(本窯)  
10月11日(水) 9名 炭小屋内作業(製材、小屋裏柵、タタラ用パイプ加工、木工)  
10月14日(土) 13名 パイプ棚設置、たたら炉用温度計校正、小屋裏片付、伐倒材搬入、  
センターへ薪運搬  
10月18日(水) 11名 炭小屋内作業(本窯炭だし、小屋裏柵塗装完成)  
10月21日(土) 12名 パイプ棚設置、センターへ薪運搬、CSR標示杭(東芝S)加工、運営会  
10月22日(日) 観察の森「まるごと体験」コースターづくり、薪割り 台風で中止  
10月25日(水) 7名 炭小屋内作業(CSR標示杭防腐処理、パイプ棚壁面波板下地、  
たたら炉温度計校正、木工)

## 2. 運営会の報告(於:自然観察センター 10月21日(土) 12時40分~14時)

- (1)炭焼き 10月7日(土)~8日(日)に実施。担当 片岡、山田、工藤、谷垣、赤羽(泊り)  
本窯 炭材量 412kgー炭 90.5kg(22%)うち良品 56kg 未炭 29kg 木酢液 約 70 ℓ  
ドラム缶窯 炭出しまだです。  
(2)友の会の観察の森「まるごと体験」 10月22日(日) 台風のため中止になりました。  
(3)栄区まつり参加決定 日時:11月11日(土) 出店 長机1個分のみです。  
担当 鈴木 参加予定者 片岡、吉田、谷垣 奮ってご参加ください。  
出店品 タンボール1個分 11月8日(水)にセンターへ。友の会が会場に運んでくれる。  
「ZFC紹介のパネルA3判」展示を友の会に申し入れ予定。  
(4)栄高校 三世代交流会 わらが無いため今年是不参加になりました。  
(5)たたら製鉄トライアルの説明 担当 関根 当日 8:30 集合 9:00 着火 14時頃ケラ出し  
作業概要 2時間程度 炉を乾燥後炭 1.2m入れ、砂鉄 200g貝殻 10gを 30cm下がる毎に追加  
予想では50回程度繰り返す。除き用パイプから観察、最後に炉を崩しケラ出し  
(6)ZFC通信のコラム投稿予定 10月 大西 11月 池澤 12月 鈴木 1月 赤羽  
(7)納涼会の結果報告 小島氏からこの会計報告あり  
(8)花王分物品の購入状況など報告。万力、チェーンソーガードバーが未だ 担当 吉田氏より報告あり  
(9)炭焼き記録(詳しい内容)は小屋内書棚にファイルしています。閲覧してください。  
(10)安全管理講習会「森づくりのための作業研修」12月2日(土) 参加 星隈、小西、谷垣  
(11)測定器購入について ①炭材用含水率測定器 カイセ デジタル水分計 ②ドラム缶窯内部用  
500℃程度対応温度計ー協議結果、①は炭材適不の判断用としてOK ②要検討

## 3. 10月、11月活動予定

- 10月28日(土) ドラム缶窯炭出し、たたら(炉製作、炭切り、砂鉄煮沸)、ドラム缶窯炭材準備、  
ZFC通信発送、道具整備  
11月 1日(水) 炭小屋内作業  
11月 4日(土) たたら炉制作、ドラム缶窯炭材詰め、栄区区民祭り準備  
11月 8日(水) 炭小屋内作業、栄区民まつり出店品センターへ  
11月11日(土) たたら製鉄トライアル準備、ドラム缶窯炭焼き準備、栄区区民祭り参加  
11月15日(水) 炭小屋内作業  
11月18日(土) たたら製鉄トライアル、ドラム缶窯炭焼き、運営会  
11月19日(日) 友の会定例会(三村、関根、谷垣) 理事会(関根、吉田、谷垣)  
11月22日(水) 炭小屋内作業  
11月25日(土) 炭小屋裏檜伐倒、クヌギ林草刈、SF準備、センターへ薪運搬、道具整備  
11月29日(水) 炭小屋内